

# EXHIBITION

「会場」歴史民俗資料館 風と砂の館／内灘米軍試射場 射撃指揮所跡／着弾地観測所跡／内灘町文化会館

## 内灘闘争

### 風と砂の記憶

二〇二二

石田愛莉

上原勇希

金塚良菜

岸桃子

桜井旭

麦谷真緒

山岸真弥

アート展示

2022.9/21-9/30

10/2-10/13

ARTIST TALK



## EXHIBITION アート展示

金沢美術工芸大学学生による  
内灘闘争をテーマに制作された作品の展示

### 参加メンバー

石田愛莉 上原勇希  
金塚良菜 岸 桃子  
桜井 旭 麦谷真緒 山岸真弥

### PART.1

9/21(水)~9/30(金) 10:00~17:00

歴史民俗資料館 風と砂の館

石川県河北郡内灘町字宮坂に455番地

内灘米軍試射場 射撃指揮所跡

石川県河北郡内灘町字千島台5-80地先

着弾地観測所跡 石川県河北郡内灘町宮坂ぬ

### PART.2

10/2(日)~10/13(木) 10:00~17:00

内灘町文化会館 1階ロビー

石川県河北郡内灘町大清台140

## ARTIST TALK アーティスト・トーク

PART.1 9/25(日) 13:30~15:00

会場: 展示会場(歴史民俗資料館集合、マイクロバスで移動)

参加費: 無料(要申込) 定員: 20名ほど

申込先: 内灘町文化スポーツ課(TEL.076-286-6716)

PART.2 10/2(日) 11:00~12:00

会場: 内灘町文化会館ロビー

参加費: 無料(自由参加)

## SYMPOSIUM シンポジウム

第25回内灘砂丘フェスティバル 10/2(日) 13:00~

「内灘闘争70年シンポジウム」

稲垣健志 (金沢美術工芸大学 准教授)

金沢大学文学部卒業、英国ウォリック大学大学院修了、大阪大学大学院博士後期課程単位取得退学、博士(言語文化学)。専門はイギリス現代史、移民文化研究。2014年4月に金沢美術工芸大学に着任。2017年に、「社会とアート」にかかる問題を広く世に問うことを目的とし、Art Today Collective(ATC)を結成。内灘闘争を題材としたアート制作を展開した。

小笠原博毅 (神戸大学 教授)

早稲田大学政治経済学部卒、ロンドン大学ゴールドスミス校社会学部博士課程修了、博士(社会学)。専門は社会学、文化研究。スポーツやメディアにおける人種差別を主な研究テーマに捉え、カルチュラル・スタディーズの視座から近代思想や現代文化を論じている。2021年、シンポジウム「裏日本から戦後を再考するー内灘、風と砂の記憶展をめぐって」に参加。

上原こずえ (東京外国語大学 准教授)

2004年の沖縄国際大学へり墜落後にはじめて辺野古の盛り込み闘争に参加し、2005年からのハワイ大学院留学以来、太平洋の島々をつなぐ反核・反原発・反軍事的抵抗運動と沖縄島中部東海岸での石油備蓄基地建設反対の住民運動(反CTS金武湾闘争)の研究に取り組んできた。著書に「共同の力ー一九七〇~八〇年代の金武湾闘争」『一人ひとりが代表ー崎原盛秀の戦後史をたどる』。

本康宏史 (金沢星稷大学 教授)

金沢大学大学院社会環境科学研究科学位取得、博士(文学)。専門は日本近代史、地域史。石川県立歴史博物館学芸課長、金沢大学資料館客員研究員、中京大学社会科学研究所特任研究員、人間文化研究機構連携研究員、国際日本文化研究センター共同研究員を経て現職。これまで石川県の近代史について多くの書籍の執筆、監修に携わる。2014年に金沢市文化活動賞を受賞。

星野太 (東京大学 准教授)

東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了、博士(学術)。専門は美学、表象文化論。金沢美術工芸大学美術工芸学部専任講師、早稲田大学社会科学総合学術院専任講師を経て2021年より現職。2017年に、稲垣健志と共にATCを結成。内灘闘争を題材としたアート制作を展開し、アートにおいて内灘闘争がいかに表現されているかを学会にて論じた。

〈会場マップ〉



主催: 金沢美術工芸大学 稲垣健志研究室

協力: 内灘町教育委員会、金沢美術工芸大学 武田雄介研究室

問い合わせ: 稲垣健志研究室(inagaki@kanazawa-bidai.ac.jp)

〈シンポジウム問い合わせ〉

内灘砂丘フェスティバル実行委員会(内灘町教育委員会教育部文化スポーツ課内)

TEL.076-286-6716 FAX.076-286-6714